

決算特集号



「日本一の桃源郷ウォーク」で笛吹市の景色を満喫

平成29年度決算が市議会第3回定例会
で認定されました。

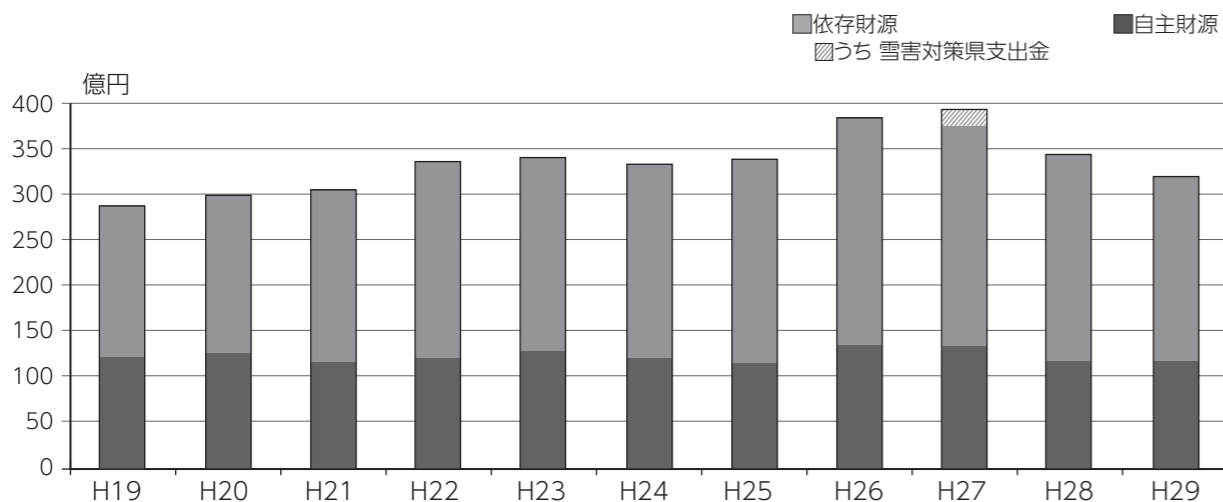
一般会計の決算を中心に、笛吹市の決
算の概要を紹介します。

CONTENTS(内容)

決算の概要	2~5
市の基金と市債(借入金)	6
財政健全化判断比率など	7
平成29年度の主な事業	8

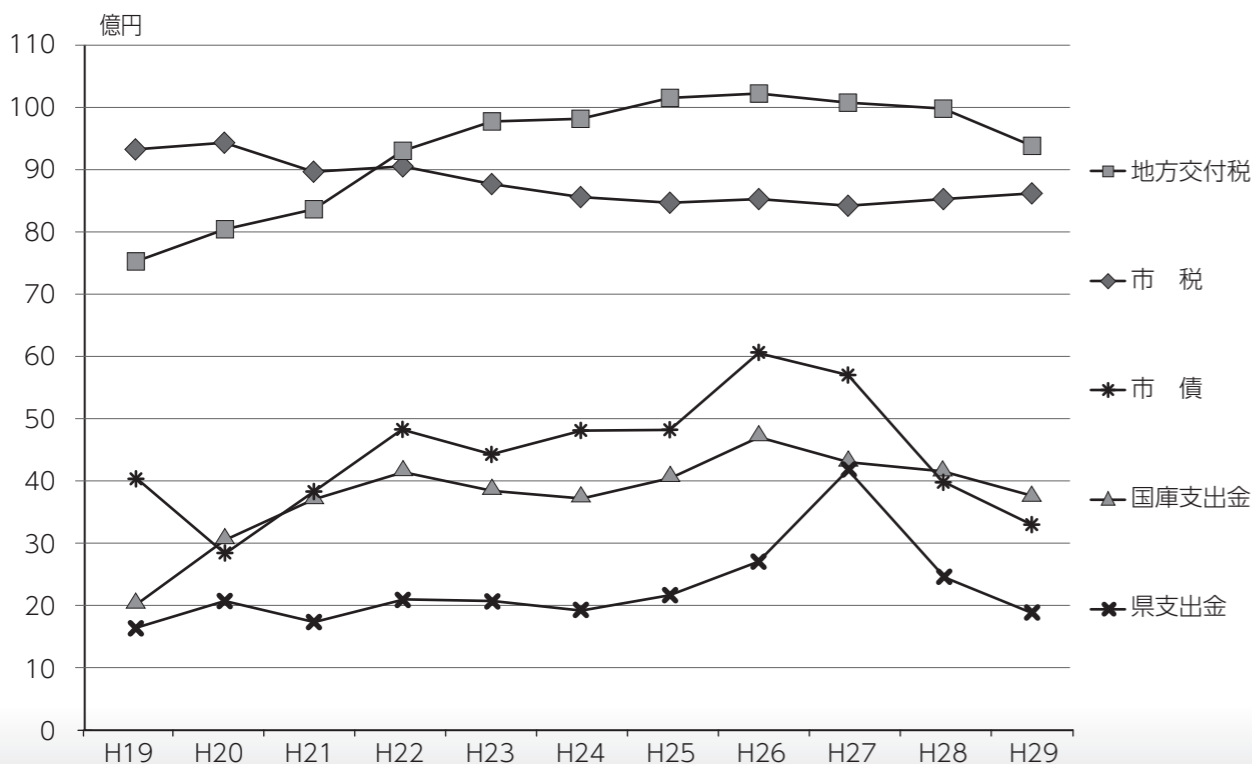
一般会計 自主財源・依存財源の推移

合併からの推移を見ると、自主財源はほぼ横ばいで推移しています。増加傾向にあった依存財源は、平成27年度以降、国の交付金を活用した大型建設事業が終了したことや地方交付税の減少に伴い、減少しています。



一般会計 主な歳入科目の決算額推移

国庫支出金や市債は大型建設事業の終了に伴い、また、地方交付税は平成27年度以降の段階的縮減に伴い、それぞれ減少しています。一方、自主財源の根幹である市税については、所得額の上昇や収納率の向上により増加しました。

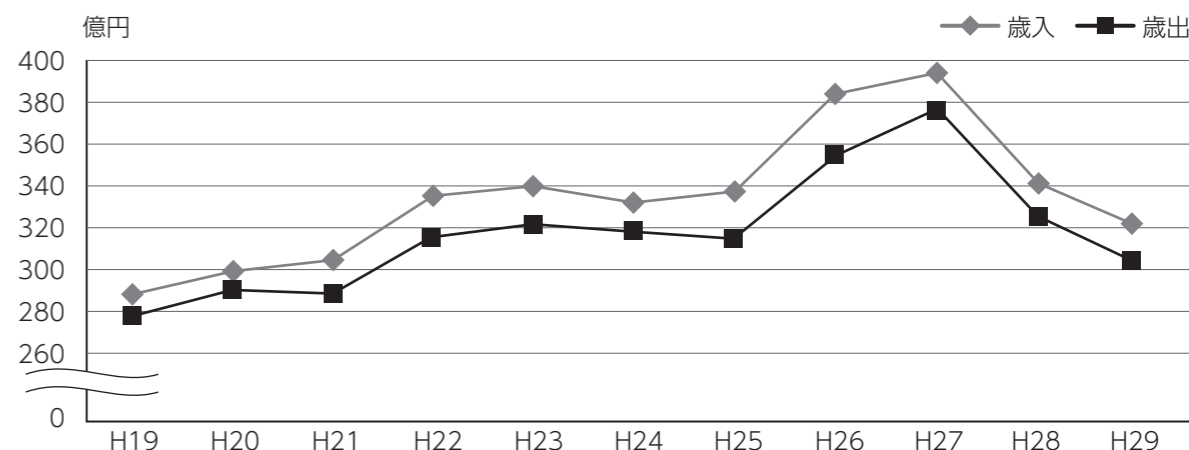


平成29年度 決算概要

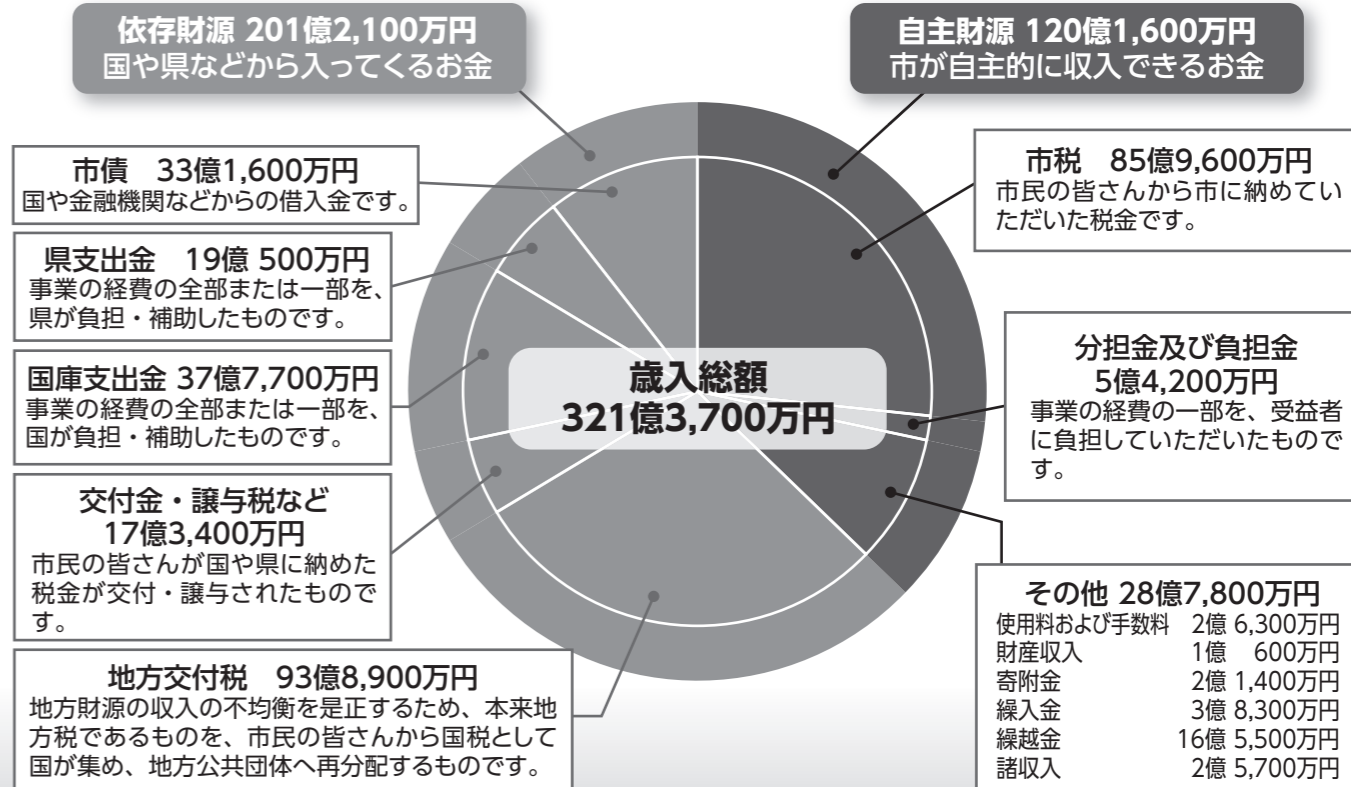
平成29年度決算が、市議会第3回定例会で審議され、認定されました。ここでは、市民の皆さんに納めていただいた税金がどのように使われ、また、市の財政が今どのような状況にあるのかをお知らせします。

一般会計 歳入・歳出の決算規模

平成29年度一般会計決算は、歳入総額が321億3,700万円、歳出総額が302億1,500万円でした。昨年度と比較すると、歳入は19億2,000万円減、歳出は21億8,700万円減と、決算の規模が縮小しました。

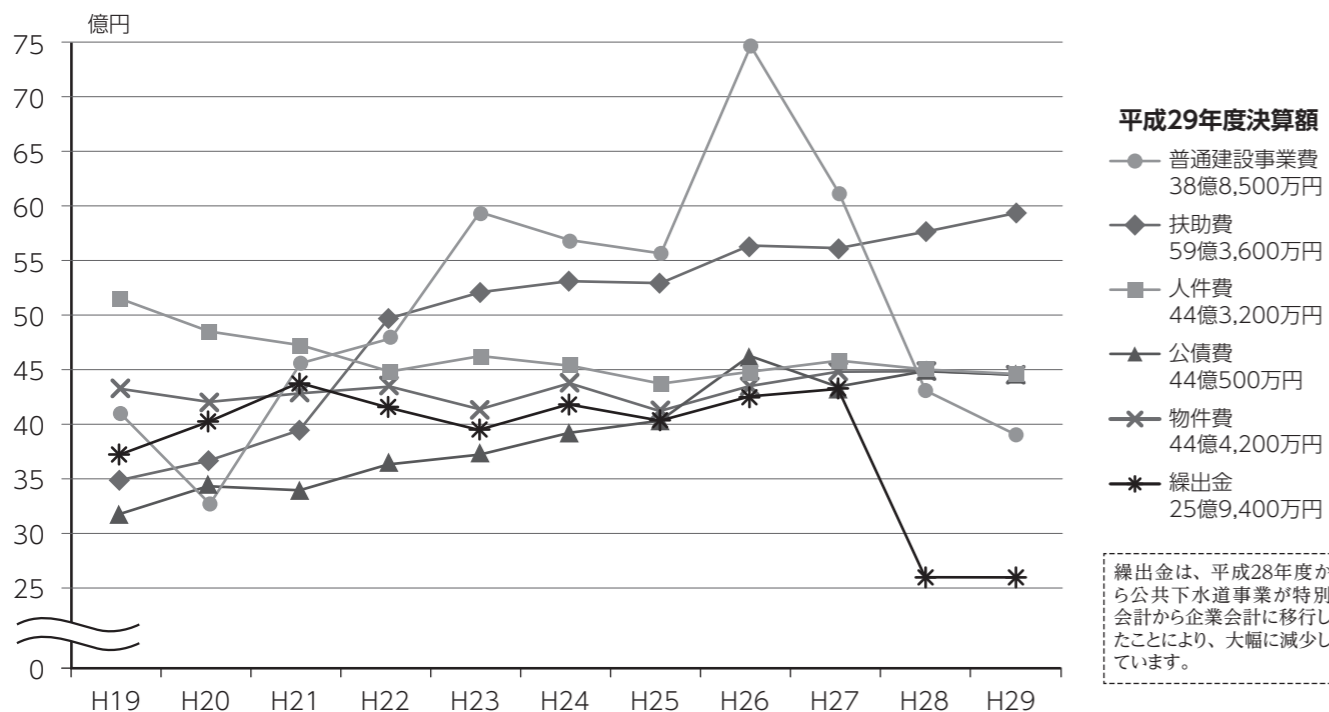


一般会計 歳入の内容



一般会計 性質別歳出額の推移

平成27年度まで高い割合を占めていた普通建設事業が基盤整備を目的とした大型建設事業の完了に伴い大きく減少している一方、子育てや高齢者、障がい者などを支援するための費用である扶助費については、年々増加しており、昨年度に続き、性質別歳出の中で最大の額となりました。

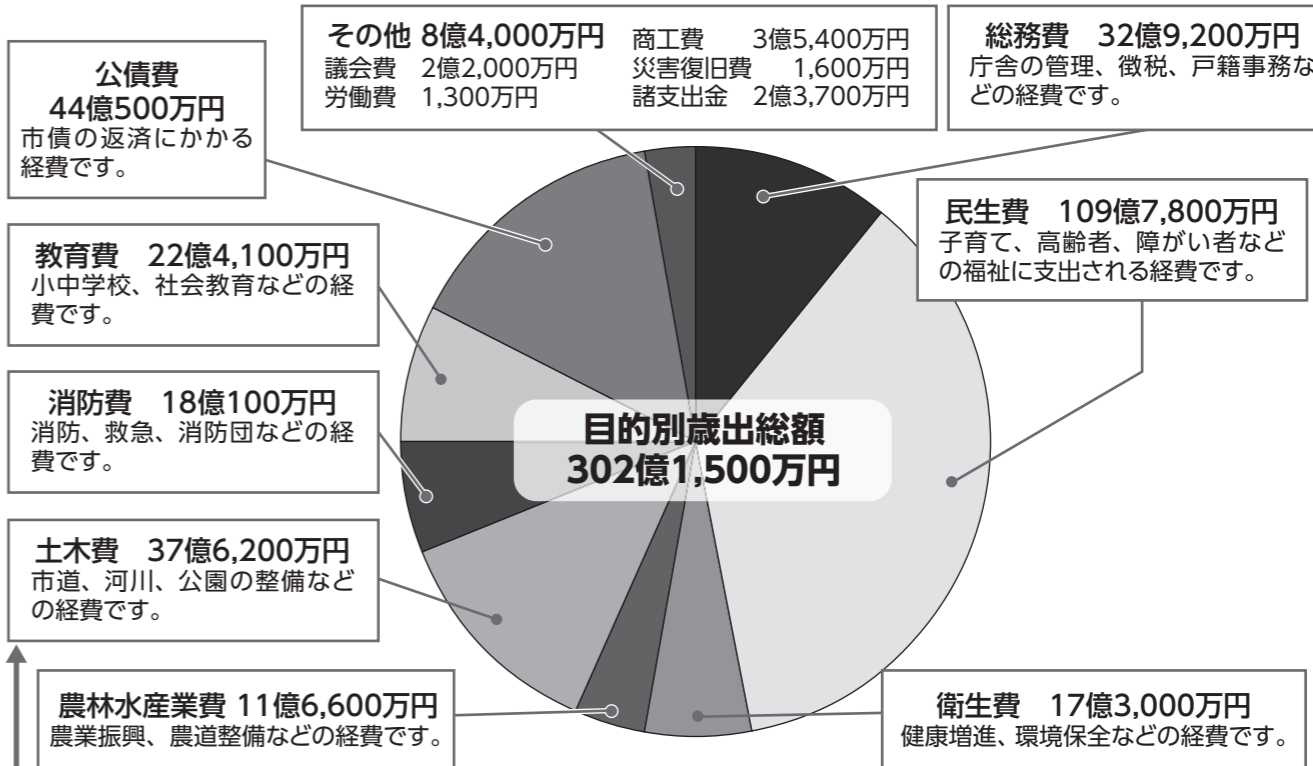


特別会計・企業会計の決算状況

会計区分	収入済額	支出済額	会計	区分	決算額
国民健康保険特別会計	103億4,211万円	98億3,289万円	水道事業会計	収益的(1)	収入 16億7,451万円
介護保険特別会計	66億366万円	63億6,743万円			支出 16億6,483万円
介護サービス特別会計	2,316万円	1,563万円		資本的(2)	収入 4億5,634万円
後期高齢者医療特別会計	14億2,073万円	14億1,095万円			支出 9億6,406万円
農業集落排水特別会計	4,628万円	4,161万円	春日居地区温泉給湯事業会計	収益的	収入 7,003万円
簡易水道特別会計	1,694万円	1,442万円		支出 6,217万円	
笛吹市境川観光交流センター特別会計	5,480万円	4,697万円	資本的	収入 0万円	
恩賜県有財産保護財産区管理会(9特別会計合計)	5,410万円	464万円		支出 0万円	
合計	185億6,178万円	177億3,454万円	公共下水道事業会計	収益的	収入 20億1,573万円
				支出 19億4,872万円	
			資本的	収入 9億2,794万円	
			支出 16億4,655万円		

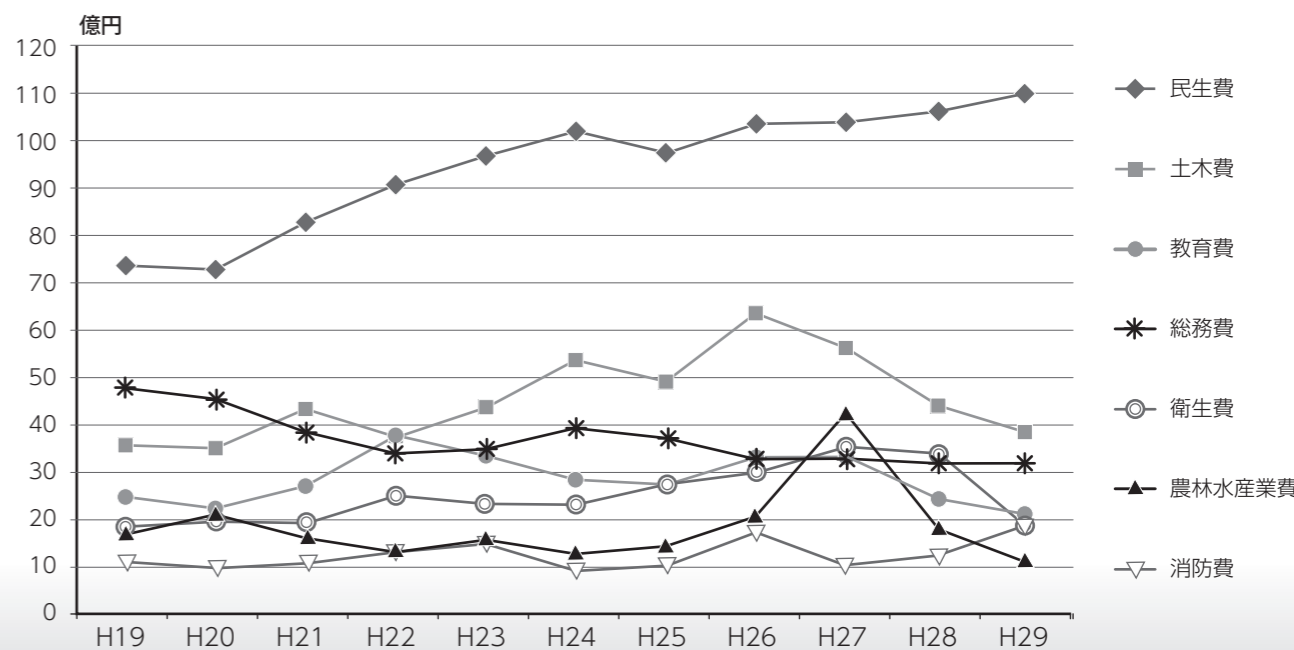
収益的および資本的収入が支出に不足する額は決算剰余金などの補てん財源で措置しました。
 (1)…各事業を運営していくための施設の維持管理や人件費などの会計
 (2)…資本を形成するための工事や大型備品などの更新のための会計

一般会計 歳出の内容



歳出の中で最も大きな割合となったのは、民生費の109億7,800万円で、歳出全体の約36%を占めており、昨年度より約3億7,500万円の増額となっています。民生費には、制度上支出することが義務付けられている社会保障の経費が多く含まれており、高齢化が進むなか、削減が難しい状況となっています。

歳出全体の約12%を占める土木費が、公債費に次いで歳出の中で大きい割合となりました。37億6,200万円で、昨年度より約6億4,000万円減少しています。主な事業として、労働橋および周辺道路整備事業や市営住宅四日市場団地建替事業などを実施しました。



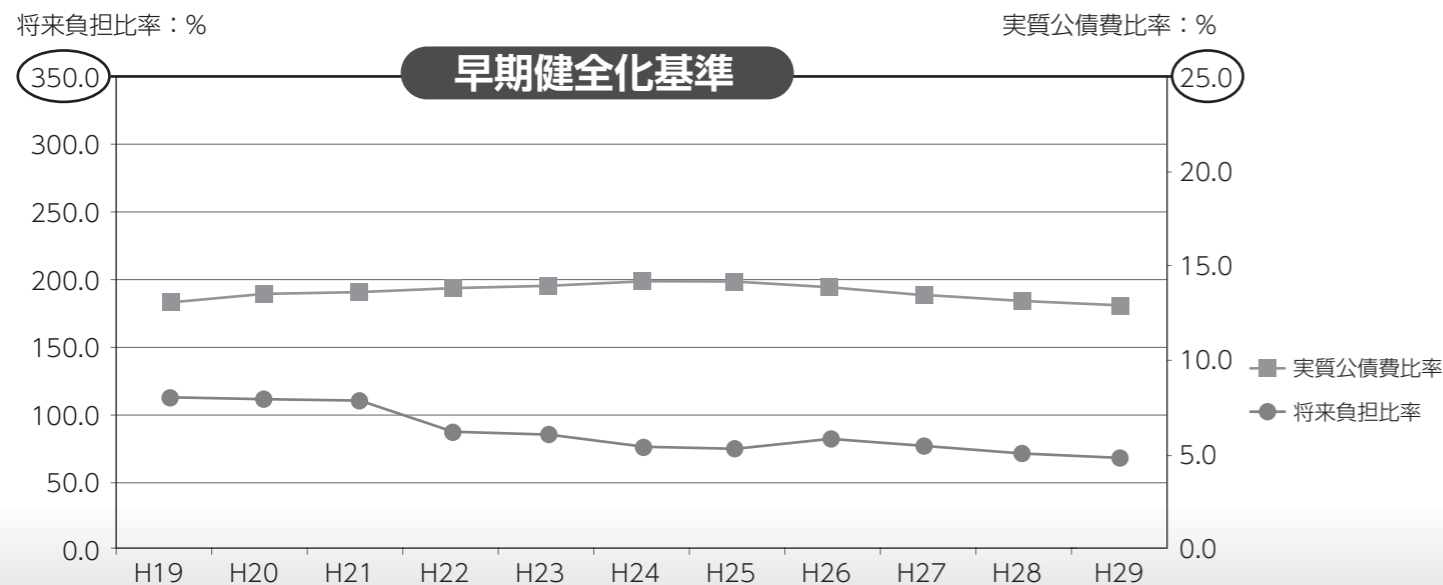
財政の健全度を判断する指標を公表します

平成29年度決算に基づく算定の結果、全ての指標が「健全」の基準内となり、健全な財政運営が維持されていると判断できます。

指標	比率の説明	算定結果(前年度)		早期健全化基準	
健全化判断比率	①実質赤字比率	一般会計の赤字額の程度を市の財政規模と比較して指標化し、財政運営の健康度を示す比率です。	— (—)	一般会計は黒字となっていますので、指標化されません。	12.52%
	②連結実質赤字比率	一般会計、特別会計および公営企業会計の赤字額や黒字額を合算して、市全体の赤字の程度を指標化し、財政運営の健康度を示す比率です。	— (—)	全ての会計において黒字となっていますので、指標化されません。	17.52%
	③実質公債費比率	一般会計の借入金の返済額と公営企業会計や一部事務組合の借入金の返済金のうち、一般会計から支出されたと認められる額の合計額を市の財政規模と比較して指標化し、資金繰りの安全度を示す比率です。	12.9% (13.1%)	前年度から0.2ポイント減少し、早期健全化基準の「25.0%」を下回っていますので、健全といえます。	25.0%
	④将来負担比率	将来負担すべき額から市の貯金などを差し引いた額を、市の財政規模と比較して指標化し、今後の財政を圧迫する可能性を示す比率です。	67.2% (70.4%)	前年度から3.2ポイント減少し、早期健全化基準の「350.0%」を下回っていますので、健全といえます。	350.0%
⑤資金不足比率	上水道、下水道など公営企業の資金不足を指標化し、経営の健康度を示す比率です。もし、ある公営企業会計で赤字が出たときには、赤字額をその公営企業の料金収入の規模と比較して、指標化します。	— (—)	全ての公営企業会計とも赤字となっていないので、指標化されません。	20.0%	

指標の推移

財政健全化指標の公表が義務付けられた平成19年度以降の数値をグラフで表すと、将来負担比率、実質公債費比率ともに昨年度に引き続き減少しました。笛吹市では、各指標とも早期健全化基準を大きく下回っているため、健全な財政状態が保たれていることが判断できます。



一般会計 基金現在高の状況

	平成28年度末	平成29年度末	増減額
財政調整基金	39億 3,912万円	39億 4,110万円	198万円
減債基金	17億 8,960万円	17億 9,062万円	102万円
公共施設整備等基金	35億 7,003万円	34億 4,365万円	△1億 2,638万円
地域振興基金	48億 8,395万円	48億 8,984万円	589万円
その他特定目的基金	23億 1,517万円	24億 1,958万円	1億 441万円
基金現在高合計	164億 9,787万円	164億 8,479万円	△1,308万円

基金とは、家計でいうと預貯金のことです。決算剰余金が生じた場合などには、基金に積立を行い、特定の目的を持った基金については、各事業に充当するため、必要に応じて取り崩すことになります。平成29年度は、2億3,700万円を積み立て、2億5,008万円の取り崩しを行いました。

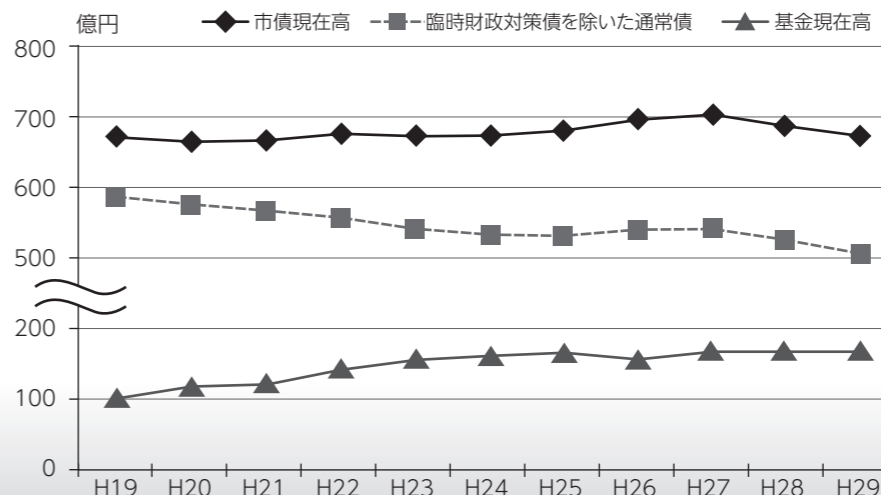
市全体 市債(借入金)現在高の状況

会計名	平成28年度末	平成29年度末	増減額
一般会計	437億 3,430万円	429億 5,326万円	△7億 8,104万円
うち合併特例債	200億 995万円	202億 4,124万円	2億 3,129万円
うち臨時財政対策債	159億 9,643万円	159億 9,733万円	90万円
公営企業会計	252億 6,766万円	239億 6,273万円	△13億 493万円
上水道・簡易水道	87億 6,172万円	85億 1,850万円	△2億 4,322万円
下水道	162億 1,989万円	151億 8,155万円	△10億 3,834万円
農業集落排水	2億 8,605万円	2億 6,268万円	△2,337万円
市債現在高合計	690億 196万円	669億 1,599万円	△20億 8,597万円
臨時財政対策債を除く市債現在高合計	530億 553万円	509億 1,866万円	△20億 8,687万円

市債には、長く利用する施設の建設に当たって、資金の借入をすることにより、後年度の償還を通じて将来その施設を利用する人にも、建設の費用を公平に負担していただくという、世代間の負担の公平性を保つ役割があります。平成29年度の現在高は669億1,599万円で、昨年に引き続き減少しました。

基金と市債(借入金)現在高の推移

基金の現在高は、大きな取り崩しを行うことなく、約160億円前後で推移しています。一方、市債の現在高においては、臨時財政対策債を除く通常債について、大型建設事業の終了に伴い減少しています。



臨時財政対策債とは…?

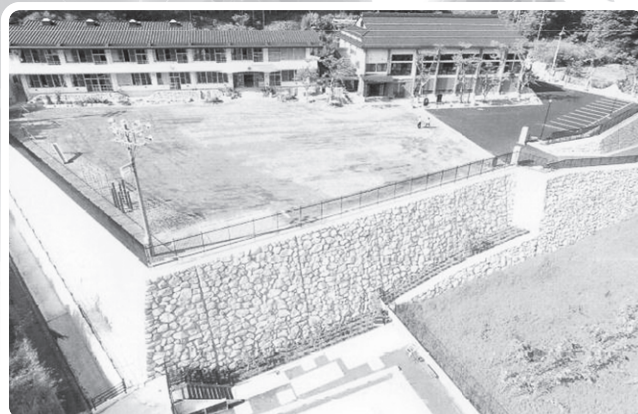
国から地方公共団体へ配分する地方交付税が足りない場合に、不足分を地方公共団体が借金をして、一般財源として使用するものです。臨時財政対策債は、その元利償還金全額が後年度の交付税に算入することとされています。

平成29年度実施事業

平成29年度も多くの事業を実施しました。主な事業の内容について、一部を写真で紹介します。



労報橋および周辺道路整備事業 「笛吹みんなの広場」周辺整備事業として、労報橋の架け替えと周辺道路の拡幅および一部区間の新設を行いました。引き続き、道路拡幅や歩道設置を行い、広場周辺の利便性の向上とともに観光の活性化に向けた整備に取り組んでいます。



芦川小学校屋内運動場耐震改築事業 耐震化を行った屋内運動場に加えて、擁壁改修・グラウンド整備を行い、教育環境の充実を図るとともに、地域防災の拠点・災害時の避難所として安全を確保しました。



消防署出張所庁舎整備事業 庁舎の老朽化および適正配置のための統合に伴い、市内の東部（一宮町新巻地内）と西部（境川町石橋地内）の2カ所に新たに消防署出張所を整備しました。地域の生命財産を守り、災害等の緊急時には迅速かつ的確に対応します。



消費者行政事業（消費生活センター） 消費生活全般の契約上のトラブルに対応する相談窓口として「笛吹市消費生活センター」を開設しました。訪問販売等の不意打ち的な取引や覚えのない請求などの相談に対し、専門の相談員が解決の手助けをします。



富士見地区道路冠水対策事業 道路冠水の常習地区である石和町富士見地区を浸水被害から守るため、渋川排水機施設を55年ぶりに更新しました。併せて道路改良を行い、道路ネットワークの安全性・信頼性を確保しています。



ごみ減量化推進事業 平成29年4月から、指定可燃ごみ袋が導入されました。その結果、平成28年度と比べて、可燃ごみの量が約14%減少しました。引き続き、ごみの分別・減量化に努め、環境に優しい循環型社会の構築を目指します。

■問合せ先 財政課 ☎ 055(262)4111

●発行／2018年11月1日 山梨県笛吹市役所

●編集／企画課・広聴広報担当

●所在地／〒406-8510 笛吹市石和町市部777番地

☎055(262)4111

●URL <http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/>